



近畿支部会報2018年2月号

毎日本当に寒い日が続きますね。今年の雪の量は異常です。福井県等雪の多い地方は大変です。私の大津の友達も、30Cmも雪が積もって雪かきをしないと家から車が出せないと言っていました。健康面ではインフルエンザが猛威をふるっています。私は1月イタリアに行っていました。ローマは例年の3月の気温という事でとても気持ちが高く、帰ってきてからしばらくは冷蔵庫の中にいるように感じました。

テレビではピョンチャンオリンピックが連日放送されています。若い新人の方、葛西選手のように何年も何回もオリンピックに出場されている方、皆さん、一瞬に決まる試合のために、日々自分の限界に挑戦され、努力を積み重ねていられる事に、大きな応援と敬意を表したいです。そして、彼らの活躍は私たちにとても大きな感動と勇気を与えてくれています。

庭の梅を見ると、つぼみが赤く膨らんでいます。お正月には隣の家に咲いている寒梅のお裾分けに預かり、お正月らしい気分が味わえました。「冬来たりなば春遠からじ」です。

皆様にはお元気で寒さを乗り切り、元気に春を迎えて頂けますように願っています。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. 例会報告	京都市	W.H
2. トラベル報告	.Wonderful Nature in Canada & the USA	京都市 H.T
	西オーストラリアの旅 (Perth~ Bunbury ~ Perth)	交野市 K.K
3. トラベラー受入れ報告	ベルギーとフィンランドのゲストを迎えて	久世郡 A.K
	フィンランドからのお客様 (1月7日)	交野市 K.K
4. お知らせとお願い		支部長

1. 例会報告

京都市 W.H

日時：2018年2月12日

場所：旬和席「うおまん くずはモール店」

参加者：会員14名 見学1名 計15名

京阪樟葉駅のまん前にショッピングセンターや食堂街を備えたくずはモールがあり、会場はそのくずはモール内のお店です。参加者は15名、その中にはフランスへの旅行を予定されている若い見学者や、サーバス



歴40年位のメンバーで久しぶりに参加される方等多彩な顔ぶれでした。お店はSさんが下見の時食事をして決めてくれた所で、皆メニューを見ながら思い思いに注文しました。サーバスでは新参者の私ですが、おいしいお料理にはやっぱりビールだと迷わずビールを注文しました。続いてMさんがワインを注文し、美味しい料理と会話に楽しい昼食が始まりました。旅行経験豊富な先輩方の話をいっぱい聞くことが私の例会参加の目的です。楽しいお話、貴重な体験を聞くにつけ、なんかワクワクし、素敵な仲間との出会いがサーバスの醍醐味だなと実感しました。昼食後は議題につ

いての討議の後、プロジェクターを使って M さんから写真加工の講習を受け、1 つ知識が増えたと皆大喜びでした。

例会終了後、同じ建物にある「くずはギャラリー」にて S さん所属の“ひよこクラブ写真展”を拝見し、すばらしい写真に感動しました。

議題の討議

(報告 支部長)

・会計関係の討議と承認

2017 年度日本サーバス近畿支部会計決算書 2017 年度日本モンゴル障がい児交流会会計決算書
2018 年度日本サーバス近畿支部予算書
⇒会計決算書予算書とも承認されました。

・SOL に伴う支部会員の名簿の管理について

各自のデータに変更のある場合、SOL のデータは変更されるが、他の会員には伝わらない。
⇒今多くの会員が支部会員の情報を見るのはやはりまだ印刷のホストリストです。それ以後に入会された会員や、住所やメールアドレス等に変更がある会員の事については、SOL を見る事以外は支部会員に情報がいきません。それで年 1 回近畿支部会員名簿を印刷して発行することになりました。記入する事は名前、性別、おおよその年齢(1950 年代等)、ホスト (H) またはディホスト (DH)、住所、電話番号、メールアドレスです。インターネットで送信して情報漏れがあると困りますので会員に郵送します。この作業は毎年 T 会員がして下さるので、支部でプリンターを買い、T 会員に管理して頂く事になりました。

・各例会の内容を考える

5 月 3 日	特別例会	日本モンゴル交流会のオープニングが午後 2 時から予定されています。参加してモンゴルの方を歓迎し、励ますため、特別例会としました。
5~6 月	初夏の例会	サーバス国内会議の報告と討議
10~11 月	秋の例会	月曜日の祝日に設定出来れば S 会員のパン工房でピザのクッキングスクール、午後から W 会員の話を聞く。
12 月	総会	

・プロジェクターの披露

昨年近畿支部で買ったプロジェクターの披露と、それを使って写真に文字を入れる方法を M 会員に教えて頂きました。大きな画面で見られるので、皆もよく理解出来、好評でした。今後も機会を見つけてしていこうという事になりました。

2. トラベル報告

Wonderful Nature in Canada & the USA

京都市 H.T

9 月 18 日~11 月 11 日、W さんとカナダ・アメリカを旅行しました。

9 月 18,19 日 Calgary Po (F) & Ro (M) Co

Po はメールに対して初めて返事をくれた人です。ご夫婦ともカルガリー大学の先生で、新学期が始まって忙しいので、ウェルカムだが案内しあげられないと言う事でしたが、喜んでホストをお願いしました。空港には Po が迎えに来て下さり、その日は大学での会議に参加している他



の地域のサーバスの人たちも一緒ですっかりくつろげて素敵な旅の幕開けでした。9日はWさんと2人で美術館等カルガリーの市内観光をしました。

9月20日 デイホスト Co, Ju(F)

カナダサーバス会長のJuが迎えに来て下さり、彼女の車でバンフへ。道すがら、アボリジニの話の聞いたり、景色が良い所に寄り道してバンフに到着。彼女も大学の先生で忙しい時なのに、時間ギリギリまでバンフの少し郊外にあり、徒歩では難しい所を案内して下さいました。彼女のおかげでカナダのアボリジニの事やカナダ開拓時代の事がわかってとても良かったです。

Banff・Jasperはロッキー山脈国立公園であり、住む人が制限されているので、サーバスホストはいなくてどちらにも3日ずつホテルに泊まりました。あちらこちらに出かけて世界に冠たる雄大なロッキー



の自然を思いっきり楽しみました。BanffからJasperへはツアーバスで移動。ここはロッキー山脈でも1番景色が良いと言われる所で、1番楽しみにしていました。幸いお天気にも恵まれ、迫りくる山の景色、素晴らしい水の色、湖、グレイシャーウォーク等とても素敵で、今日1日だけでも旅行に来た値打ちがあると思える素晴らしい自然を堪能しました。

9月26,27日 Vancouver We. Ca(F)

Caさんはとても物静かで温かい方、町の中心にきれいにお住まいでした。お料理が上手でワインを片手に楽しい時を過ごしました。27日は私たちがバンクーバー市内の観光を楽しみました。バンクーバー美術館は丁度モネの特別展であったので、それ自体は良かったのですが、せっかくバンクーバーへ来ているのにモネの展示で満足とはおかしな事です。

6月28,29日 Victoria Wo. Te (F)

BCフェリーとバスを乗り継いでバンクーバー島のビクトリアに着くと、Teさんが迎えて下さいました。Teさんの家は美術館かと思う位、世界中からの素敵なコレクションに溢れていました。親の代からの物で、どの部屋も素晴らしい展示でした。作って下さるお料理も中途半端でなく、何事も極めていくという感じでした。彼女は携帯電話も使わず、ティッシュペーパーも使わず、エコな生活を実践されています。又、カナダ在住の広島で原爆にあった人と懇意であったり、中南米の人たちをサポートするグループや、近くに住むお年寄りの世話をされたりしていられ、玄関にはPEACEという素敵なキルトが飾られていました。Teさんにお会いして自分の生活を振り返れた事は大きな収穫でした。昼間は私たち2人でビクトリアのロイヤルブリティッシュコロンビア博物館等に行きました。先住民族インディアンに関する展示やコロンビア州の氷河期から現在までの気候の変化を示す自然の展示はすごく充実していて、午前中だけでは足りず、昼食をはさんで1日中館内を歩きまわりました。夕方はTeさんが車で海辺等素敵な所を案内して下さいました。こじんまりして英国の面影が残るビクトリアはとても素敵でした。



9月30日～10月1日 Vancouver En. Ra (M) & We. Ly (F)

再びバンクーバーに帰ると船着き場にRaさんご夫妻の出迎えがあり、夕食は日本料理店に連れて行って下さいました。材料や盛り付けは日本に負けないもので、日本料理が食べたいなっているWさんは大満足でした。翌日、Raさんがスティブストンと言う港町を案内して下さいました。ここは鮭や鰻を

加工する工場があり、20世紀の初めにはとても栄えていた所です。日本人も移住してきて、その記念碑



がありました。当時の様子が残りミュージアムになっている工場を見学してから、海辺のレストランでフィッシュ&チップスを食べました。その後公園に行くと、海からの強い風に助けられていろんな凧が大空に舞い上がり、とても美しい眺めでした。

10月2日 デイホスト Sa. To (M) & Ay (F)

日本に住まわれていた Sa さんという会員がバンクーバーにいられます。日本語でメール交換が出来たので、いろいろアドバイスして頂きました。その方のお宅にお伺いしました。見事な茶室があり、お茶を教えていられます。和菓子も良い物は買えず自分で作っていられます。手作りの和菓子でお茶を御馳走して下さいました。

10月2日～5日 Seattle Su Al (F) & Ri Co (M)

バス停で出迎えて下さったホストはシアトルの少し郊外に住む素敵な方でした。

10月3日 皆が推薦するチフリーガーデンミュージアムへ行きました。多彩な形状、色鮮やかな色彩、吹きガラスを駆使した大きな作品群、こんな展示は初めてで、屋内外に展示されているすごく独創的なガラスの作品の数々に驚嘆でした。その後 Sara で昼食をするつもりでしたが、残念ながらクローズ。昼食後、シアトルミュージアムへ行きましたが、ここも休日。シアトルのダウンタウンやウォーターフロントを楽しんで、アンテークショップで素敵なコーヒーカップを見つけ、ご機嫌で帰りました。

4日、私たちがウォーキングが好きだと言っていたら、車で往復7時間もかけて Ri さんが2つの湖を抱く Mt.ベッキーに連れて行って下さいました。紅葉真っ盛りの山道をブーツ、ヴェッキオの2つの湖へ向けて歩きました。Banff, Jasper の素敵なカナディアンロッキーにいた時は、このきれいな自然と過ごただけで今回の旅は大満足だと思っておりましたが、こちらの自然は違う趣があり、一味違う美しい自然にどっぷり浸れてすごく幸せでした。



10月5日 午前中 Su さんがドックに連れて行って下さいました。レベルの違う2つの湖が、水門を閉じたり開けたりして、船が行き来するのを興味深く眺めました。午後 W さんは疲れているとホスト宅に帰り、私は見られなかったシアトルミュージアムへ行きました。葛飾北斎の絵画もあり、お茶室も作ったユニークな日本の展示、アメリカンアートや世界中からの美術品に溢れていて満足でした。

10月6,7日 Salt Lake City Sa Jo (F)



Sa さんはコーポラティブハウジングに住んでいられます。それは食堂、集会所、ゲストルーム等の共用スペースを備えた大きな建物と、その周囲に何件かの個人の家があり、周囲の空き地には共有の果樹や花畑、野菜畑があり、その家に住む人は好きに収穫出来るので、毎日新鮮な野菜が食卓に並びます。一軒のお宅ではご主人を亡くされて奥さんがカフェを開いて皆が集い、お互いに助け合って暮らしてられ、見習うべき事の多いホスト宅で、ここを選んで本当に良かったと思えました。

丁度その夜は Salt Lake City サーバスの月一度の例会でした。30人程が集まり、トラベルやサーバス受け入れ報告、とても楽しい雰囲気、生き生きと楽しく地域でのサーバス活動を楽しんでいられました。Sa さんは町を案内して下さい、デイホストの Vi さんが郊外、湖の周りに日本の尾瀬

沼のように湿原に板の歩道が作られている所を案内して下さいました。土曜日だったので、子供連れの家族が多く、休日には家族一緒に楽しむと言う良き彼らの日常生活を垣間見ました。昼からはテンプルスクエアに行き Salt Lake City の観光をしました。Salt Lake City はとても美しいと聞いていた程ではありませんでした。

10月8,9日 Salt Lake City Pa. Wa (M) & Jo Em (F)

この方たちは我が家に来られた人で、今回旅行について色々相談に乗って下さいました。家に着くや、早速車で今は廃坑になっている銅山に連れて行って下さいました。銅山は山の上であり、道すがらの紅葉は非常にきれいでした。その日は寒く、頂上で廃坑を見ていると雪が降ってきて、大急ぎでソルトレイクに向かいました。ソルトレイクは非常に大きく、どの位ソルトが効いているかなあと湖の水をなめてみると、さすが塩辛いでした。それから少し遠くなるけれど、湖の中の島に連れて行って下さいました。そこには人が住んでいなくて、珍しい野生の動物が時々現れて、これ又一味違う素敵な空間でした。その後何年か前まで人が住んでいたと言う廃墟に行きました。Pa は今日車 7 時間も運転して私達を案内してくれたのです。



10月9日 デイホスト He. Cu (F)



我が家に来られた事のある He さんが山に連れて行って下さいました。高低差が 1,000m の所を登りました。山の上からの眺めは抜群、そんな自然を見ながら He さんお手製のサンドイッチを食べ、秋の自然を心に一杯満たした最後にふさわしい 1 日でした。

10月9日 Pa・Jo ご夫妻に空港に送ってもらい、朝早くの飛行機で帰路に着きました。

今回は毎日毎日趣の違う大自然を満喫した旅でした。毎回良いホストに恵まれ、サーバスに感謝の至りです。

西オーストラリアの旅 (2017年12月26日~2018年1月5日)

Perth~ Bunbury ~ Perth

交野市 K.K

1998 年、大学を 1 年間休学してオーストラリアに滞在していた私は、ひよんなきっかけからサーバスに出会い、バックパッカーをしながら十数件のサーバスホストにもお世話になるという、たいへん貴重な経験をしました。それから 20 年たった今年の冬、いつも暖かい場所を選んでいる私は、夏の西オーストラリアを再び訪れることにしました。当時お世話になったホストのうち、連絡がとれたのはたった 1 件でしたが、新しい出会いも恵まれ素晴らしい旅となりました。

12月26日~27日 Perth (We 宅)

Perth パース 1 件目のホスト、We は知的でパワフルで、ホストが見つからずに困っていた私に「膝が悪くて何もしてあげられないけど…」と救いの手を差し伸べてくれたとても親切な女性です。Perth は 20 年前に私が訪れた頃とはいろいろな点で変化していましたが、ゆったりのにびりした街の美しさと、都市のすぐそばにきれいなビーチが延々と続いている景色は何ひとつ変わっていませんでした。We が住む



Scarborough スカボローはわずか徒歩 20 分でビーチに着くというとても便利でおしゃれなところです。久しぶりに見た西オーストラリアのビーチは相変わらず美しく、しかも人が少なく、本当に贅沢な気分を味わうことができました。近くのビーチは波風が強いからと、We おすすめビーチ Hillary's にも連れて行ってくれ、2 人で一緒にショッピングを楽しんだり、いろんな話をしたりして楽しく過ごしました。私が 1 月 5 日まで Perth にいることを知ると、「もし何かあればいつでもここに帰ってきていいのよ。ベッドは K のためにそのままにしておくから」と温かい声をかけてくれて、とても安心した気持ちで旅を始めることができました。

1 2 月 2 7 日～1 2 月 2 9 日 Perth (Ol 宅)



Perth で 2 件目のホストは高級住宅地 City Beach に住む Ol です。Ol の家からも徒歩でビーチに行くことができ、この旅の間は「毎日ビーチで泳ぐ」と決めました。Perth ではどの家も庭が広く、街全体緑が豊かです。Ol の庭にも毎日カラフルな野鳥がえさを食べに飛んで来ます。真っ白なインコやピンクのインコなど日本では絶対に見られない

ようなオーストラリア固有の生き物を、生活の中でごく間近に見ることができ、とても感激しました。Ol は車で Perth の街を案内してくれたり、King's Park に連れて行ってくれたり、近郊の Fremantle を案内してくれたり、短い期間で Perth の魅力をたくさん教えてくれました。スポーツマンの Ol と一緒に早朝のビーチを裸足でジョギングするという、オーストラリアならではの経験もできました。オーストラリアのビーチには、必ずと言っていいほど BBQ バーベキューの設備が整えられています。誰でも無料で使うことができるので、たくさんの家族連れや若者たちが BBQ を楽しむ姿が見られます。私が驚いたのは、なんと早朝にもこの BBQ 設備を使って朝食を食べる人たちをたくさん見かけたことです。ビーチが生活の一部になっている Perth の人たちが、とてもうらやましく感じられました。

1 2 月 2 9 日～1 2 月 3 1 日 Bunbury (Mi and Jo 宅)

Perth ではホストを見つけることが難しかったのですが、少し離れた Bunbury バンバリーで 2 人のホストが OK と言ってくれたので、Bunbury で年越しをすることにしました。3 件目のホスト Mi はガーデニング好きで、庭には大きなユーカリの木やレモンの木が育ち、野菜やハーブがあちこちに植えられていて、まるで公園にいるような気持ちでリラックスすることができました。Mi の家からも徒歩でビーチに行くことができ、Perth



よりもさらにのんびりとした Bunbury がとても気に入りました。Mi の友人の畑でルバーブやアボカド、グレープフルーツを収穫し、そのルバーブでデザートを作ったり、アボカドで昼ごはんを作ったりもしました。新鮮な食材を使った手作りの料理は、何にもまさるごちそうだと改めて実感しました。ご主人の Jo は仕事が忙しくなかなか会えなかったのですが、私のために仕事帰りにカンガルーの肉やワニ肉を買ってきてくれ、その優しさがうれしかったです。



1 2 月 3 1 日～1 月 3 日 Bunbury (Ju and Pe 宅)

Ju と Pe はサーバスに入会したばかりの新婚カップルで、私が第 1 号ゲストだったそうです。到着するなり「K がオーストラリアでしたいことは何？」と聞かれて、「毎日ビーチで泳ぐ」「野生のイル

カに会う」「ビーチで BBQ をする」と答えると、2人は「ぜったい全部経験させてから日本に帰すからね」と温かい笑顔で私を迎えてくれました。31日の夜は、2人の友人宅でのパーティーにご一緒させてもらいました。おいしいお酒と料理をごちそうになり、楽しい会話と花火とで大盛り上がりの大晦日となりました。元日は、Bunbury からさらに南にある Bussleton バッセルトンに連れて行ってきて、Perth や Bunbury よりもさらに美しい、エメラルドグリーンのビーチを堪能しました。ビーチのそばをドライブするたびに「前にここでイルカを見たことがあるんだけどな…」と言って、私以上に一生懸命イルカを探してくれる、本当に親切な二人でした。2日にドルフィンセンターのそばのビーチに泳ぎに行ったところ、運よくイルカに遭遇。約1メートルの至近距離で見ることができ、とても興奮しました。また Ju と一緒にイルカツアーにも参加し、イルカの群れがボートのすぐ横を楽しそうに泳ぐ姿を見ることができました。



Bunbury 滞在中にうれしいハプニングがありました。20年前に Bunbury を訪れた時にとっても素晴らしいホスト Ad と We に出会ったのですが、今回そのホストとは連絡がつかず再会を諦めていました。



しかし Mi にその話をしたところ、なんと彼らは親しい友人だと言うのです。その時 Ad たちはメルボルンにいてすぐには会えなかったのですが、1月2日に Ad の家で再会することができました。Mi や Ju、Pe も一緒にアフタヌーンティーを楽しみ、近況を報告し合いました。当時まだ子どもだった2人の男の子たちはもうすっかり大人になり、上の子はお父さんになっていました。2人は当時のゲストブックを大切に保管しており、私が20年前に書いたページもちゃんと残っていました。

20年ぶりに再会したオーストラリア人のホスト、サーバスに入会したばかりの現ホスト、その前に私を泊めてくれた前ホスト、そして日本人の私と、みんなばらばらの人生を歩んできた6人がこの場に集まり、そして笑顔で楽しい時間を過ごしていることに、この上ない幸せを感じました。

次の日はビーチでの BBQ も経験し、もう心残りはないと言えるほどでした。Ju と Pe のあたたかきもてなしには感謝の言葉もないほどです。それなのに二人は「Kのおかげで、地元の素晴らしいサーバスメンバーと知り合うことができた。Kが来るまではサーバスでホストすることについて心配もあったけど、今では次のホストが来るのが楽しみで仕方ない。もっともっと受け入れたい」と嬉しそうに話してくれて、「サーバスは本当にいい人ばかりだなあ」とつくづくそう思いました。

1月3日～1月5日 Perth (Vo and Mi 宅)

Bunbury から Perth に戻ってきて、最後のホストは Vo と Mi 夫妻です。Vo は4月に初の日本旅行をするそうなのですが、チケットを予約したその日に私からのリクエストメールを受け取り、「これは何かの縁に違いない」と運命的なものを感じて、Yes の返事をくれたそうです。西オーストラリアのビーチは「サンセットビーチ」とも呼ばれ、美しい夕日が見られることで有名ですが、二人は2日続けてドライブできれいな夕日が見えるビーチに連れて行ってくれたり、「毎日ビーチで泳ぐ」と決めた私のために、波が比較的穏やかなビー



ちに連れて行ってくれたりしました。PerthにはDog Beachという犬も一緒に泳いでOKというビーチ



が数箇所あります。私が行ったところは、人より犬の数のほうが多いくらいで、「こんなきれいなビーチを占有できるなんてPerthの犬は贅沢だなあ」と思いました。

そして最終日、20年前にPerthでホストしてくれたDiとLaにいよいよ再会することができました。二人は「大歓迎。なんなら2, 3週間でも家にいていいよ」と言ってくれていたのですが、残念ながら私の旅行の日程とは合わず、今回はデイホスト

として帰国日に再会したのです。この2人も私が20年前に書いたゲストブックを保管していて、「ほら、ここにちゃんとKがいる」と見せてくれました。Diはゲストブックのページに自分も後で書き込みをするそうで、私から連絡を受けた時も当時自分が書いたコメントを見て、私のことを思い出したというのです。二人は熱心なサーバスマンバーで、たくさんのゲストを受け入れているにもかかわらず、私のことを覚えてくれていたということにとっても感動しました。短い時間でしたが、公園を散歩したりご飯を食べたり、「お土産に」とチョコナッツのおやつを一緒に手作りしたりと、まるで久しぶりに会う親戚のようにとってもリラックスすることができました。20年の時を感じさせないサーバスのあたたかさを、心からありがたく感じる旅となりました。



今回の西オーストラリア旅行（10泊11日）では5件のホストにお世話になり、またなつかしいホスト2件とも20年ぶりの再会を果たすことができました。初日を除き、10日連続ビーチで泳いで過ごした旅だったので、街の変化についてはあまりよく分かりませんが、ビーチの美しさは20年前に感動した当時のままだと思います。とにかく見渡す限り真っ白な砂浜がどこまでも続いていて、海の色はきれいなブルーやグリーンやエメラルド。そしてほとんどのビーチは人がまばらで、まるでプライベートビーチのように独占できるのが、何よりも贅沢なところ。泳ぐ人、サーフィンする人、散歩する人、走る人、釣りをする人、ウィンドサーフィンする人、シュノーケルする人、BBQする人…誰もが自分の好きな過ごし方でビーチを多様に楽しんでいます。それが、リゾート地のホリデーの特別な過ごし方ではなく、地元の人たち老若男女の日々の生活の一部としてきちんと位置づいているところが、本当にうらやましかったです。オーストラリア人に聞くと、5時に仕事が終われば5時に帰宅するのが当たり前。そこからビーチに行ったり、家族と過ごしたり、毎日の生活の中でちゃんと余暇を楽しんでいるようです。最近になってようやく日本でも「働き方改革」が叫ばれるようになりましたが、自分もオーストラリア人のように日常の中にゆとりをもって生活できるようになりたいと強く感じました。

また、これは私がサーバスで旅行をしているのでそう感じただけかもしれませんが、自分たちのコミュニティーや地域の自然に関心を持ち、実際に何らかの活動に関わっている人が多いことに驚きました。今回の旅で出会ったホストは皆、地元の自然を守る活動や、社会的弱者に寄り添い応援するような活動に参加していました。そのことについてDiと話していた時、「それはサーバスにかかわらず、オーストラリアにはそんな人が多いと思うわ。自分の身の回りにもたくさんいるから。」と答えていました。これは私の個人的な感想ですが、日本で社会的な活動に参加している人に会うことはめったにありません。

「する人はするけど、大多数の人は全くしない」とはっきり分かれているような気がします。これも私

の経験に基づく個人的な感想ですが、オーストラリアでは、より多くの人がそれぞれ自分に合ったレベルや領域や方法で、積極的に社会参加している気がしました。

Bunbury で目にしておもしろいと思ったのは、「ブーメランバッグ」というシステムです。大きなスーパーの入り口あたりに、写真のような箱が置いてあって、そこにはエコバッグや紙袋などの袋がたくさん入っています。スーパーで買い物した時にもらうレジ袋を削減するためのもので、誰でもこの箱の中から取り出して使うことができます。「借りたら、次に買い物に来るときに返してね」というのがこの「ブーメランバッグ」の名前の由来で、抜群のネーミングセンスだなと感心しました。ホストの Ju も「前に借りたから、今日は返さないね」と3つほど箱に入れていました。私もエコバッグをいくつか持っていますが、



いつも持ち歩いているわけではなく、たまに急に買い物しないといけない時には、仕方なくレジバッグに入れてもらうことがあります。このブーメランバッグのシステムがあれば、家にある不要なエコバッグはそこに入れて本当に必要な人に使ってもらえるし、自分が必要な時は遠慮なく借りることができます。箱の中には学校でとりくんだと思われる、子どもたちがイラストを描いたエコバッグがいくつも入っていて、同じようなことが日本でもできたらいいのになと思いました。

ブーメランバッグの他にも、たくさんの気付きや考えさせられることがあり、今回の旅もとても意義深いものとなりました。息を呑むほど美しいビーチが印象的な西オーストラリアですが、旅をふりかえって一番心に残っているのは、やはり出会った人々とのあたたかい交流と、そこで感じた優しさです。本当にありがとうございました。

3. トラベラー受入れ報告

ベルギーとフィンランドからのゲストを迎えて 久世郡久御山町 A.K

アントワープ在住の Wi さんから、50 歳の誕生日の記念に日本を旅行したいとメールがありました。日程もいろいろ変わったため、近づいたら教えてくださいと伝えました。白川郷での幻想的で、雪の体験がとてもよかったので、もう一泊したいと希望を言ってきました。1月4日、ディナーを一緒に食べ、ベルギーの話を楽しみました。おいしいベルギーチョコをたくさん持って来てくれました。次の日からは、京都市内を散策し、高野山の予約を手伝ってほしいと



頼まれ予約しました。しかし、宿坊が現金支払いの為、カード決済がなぜできないのか？と聞かれ、高野山予約センターに聞くと、キャンセルの場合のみカード決済で、泊まってる支払いは、現金なのだそうです。それを伝えると、旅行サイトでカード決済できる宿坊を予約していました。奈良一泊・高野山二泊・大阪一泊から関空へ移動して帰国しました。



ヘルシンキ在住の An-Ka さんから日本大好きな孫娘と一緒に泊めてほしいとメールがありました。成田から箱根温泉を楽しんで、1月6日の昼ごろ我が家に着きました。ホストはたくさんしており、K さんもお世話になったそうです。Ed は、家族のアルバムとクラス写真を見せてくれました。また、ホームステイをするのは、初

めでで、文化の違いを話してくれました。「帰ったらすぐ学校なの！」どこの学生も忙しそうです。ディナー後、Edに着物の着付けをしました。温泉での浴衣とは違う振袖姿にAnさんは写真をたくさん撮っていました。7日は大阪松竹座で、坂東玉三郎の公演を見に行きました。Kさんに連絡をして、難波で再会しました。もう、一泊の予定だったのですが、雨のため京都観光はあきらめ、成田予約のホテルに交渉して帰って行きました。

フィンランドからのお客様

An-Ka (F) and Ed (F) 1月7日

交野市 K.K

2017年夏にサーバスで北欧旅行をした時、フィンランドのHameenlinnaで私をホストしてくれたアンナが、冬休みに孫を連れて日本にやって来ました。とってもお世話になったホストに再会できて心からうれしかったです。

夏に私をホストしてくれた時に、「13歳の孫が大の日本好きで、クリスマスプレゼントと誕生日プレゼントを両方かねて、この冬休みに日本に連れて行ってあげようと思うの」という話をしていたのですが、自分もその時期旅行する予定だったので、「うまく日程が合えば、大阪か京都で会いましょう」とだけ約束していました。私はAn達にとって初めての日本人ゲストだ

ったらしく、私に会うまでAnは日本のイメージもよく分からず、ただ日本大好きな孫を喜ばせてやりたいという理由だけで日本旅行を決めたそうです。でも、私が持って来た日本の写真を見たり日本の文化に触れたりする中で、だんだん日本に興味を持つようになってきたらしく、私が帰る直前には「Kが来てくれたおかげで、今度の日本旅行が私自身も楽しみになって来たわ！」と嬉しそうに話してくれました。

実際、私がオーストラリアから帰国したのが1月6日の晩で、その翌日の7日に2人が大阪の松竹座で新春歌舞伎を見に行くと言うので、その時に大阪で会うことになりました。道頓堀のネオンサインを見て回ったり、川沿いを歩いたり、法善寺さんにお参りしたり、短い時間でしたがとっても楽しかったです。孫のEdの希望で、晩ご飯はラーメンを食べました。箱根のユースホステルがとてもよかったこと、日本人がみんな親切で旅がスムーズにできるということ、サーバスホストのご厚意で着物を着せてもらったお孫さんが人形のようにかわいかったことなど、満足しているのがよく分かりました。自分が異国の地でお世話になったサーバスの友人と、今度は日本で再会して案内してあげられる、サーバスの良いところだなあと感じました。



4.お知らせとお願い

支部長

- *5月3日午後大津市にてモンゴルの方を迎えて特別例会を行います。詳しくは追って連絡しますので、よろしくご予定下さい。
- *プロジェクターがあるのでパソコンを使ってわかりやすく例会で色々勉強出来るようになりました。皆さんもこんな事が知りたいと言うことがあればどうぞお知らせ下さい。又、お楽しみ例会が未定ですので何か良い案があれば提案して下さい。
- *SOLにログインし、パスワード設定を完了した近畿支部会員は40名中27名です。又、ログインはしているが、自分の住居地をSOL地図上にバルーン表示していない方もいられます。外国からのトラ

ベラーが日本のホスト探しをする場合は、ログインとパスワード設定、地図上に居住地が明示される事が最低限必要ですので、まだ完了していない会員は上記の事を SOL に入力して頂きますように、宜しくお願い致します。わからない事があればいつでも担当役員にお尋ね下さい。

*****中国・四国支部&九州支部共同プロジェクトとして「折り鶴 GIFT」がスタートしました。それは「原爆の子の像」に奉納された折り鶴と英語の説明文をサーバストラベラーに渡し、折り鶴に託された思いを世界の人々に伝える活動です。トラベラーを受け入れる予定のある方は、「トラベラーの名前、国、受入れ予定日、受入れ会員の住所・氏名」を支部長までお知らせ下さい。会員の所に折り紙ギフトが送られてくるように支部長から中国四国支部長に連絡します。

*****日本サーバス国内会議が、2018年3月17日(土)12:30~18:00(懇親会 18:00~20:00)18日 9:15~12:45 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA地球広場にて行われます。皆様、どうぞ国内会議に足をお運び下さい。参加される方は支部長まで申し込んで下さい。

*****サーバスの国際会議が10月13日~20日韓国のソウルで行われます。詳しくは後ほどの連絡となりますが、近くですので参加しましょう。ご予約をよろしくお願いいたします。

*****2018年度サーバス年会費(一般3000円学生2000円休会者B1000円)をまだ送金されていない方は次の口座へ宜しくお願いします。

口座番号00990-6-33645 加入者名日本サーバス近畿支部

以上